

分布上顕著な新津の植物 (10)

石沢 進

1. 新津丘陵における新潟市絶滅危惧種の分布

新潟市では、「大切にしたい野生生物～新潟市レッドデータブック～」を2010年に作成し、市内における絶滅危惧種をまとめている。その中に掲載された植物で新津丘陵とその周辺に分布する種を取り上げると、次の表のようである。この表の中には、過去ほぼ10年間にわたり、新潟県における絶滅危惧種の内、新津丘陵に分布する種を調査してきたので、その間の情報を加えて整理してある。

新津丘陵の絶滅危惧種確認状況 (2010年および2000-2009年)

新潟市新津丘陵絶滅危惧種

		2010	2000-2009	備考
野生絶滅 (EW)				
クマガイソウ	環境庁:VU, 新潟県:EN	●	●	
絶滅危惧 I 類 (EN)				
マツグミ		○	○	
フクジュソウ	新潟県:VU	●	○	
ハンゲショウ	新潟県:VU	●	○	
ホザキノフサモ	新潟県:VU	●	○	
アサザ	環境庁:NT, 新潟県:VU	○	○	
マルバノサワトウガラシ	環境庁:VU, 新潟県:EN	●	○	
オミナエシ	新潟県:EN	●	●	
イトトリゲモ	環境庁:NT, 新潟県:EN	●	○	
ヤマトミクリ	環境庁:NT, 新潟県:VU	●	○	(2010年絶滅)
トケンラン	環境庁:VU, 新潟県:EN	●	○	
絶滅危惧 II 類 (VU)				
タチシノブ	新潟県:VU	●	○	
イノモトソウ	新潟県:VU	○	○	
タニイヌワラビ	新潟県:VU	○	○	
ハシゴシダ	新潟県:VU	○	○	
ヒメカナワラビ	新潟県:VU	●	○	(2010年絶滅)
ノダイオウ	環境庁:NT, 新潟県:VU	○		(2010年追加)
サネカズラ	新潟県:VU	○	○	
ウマノスズクサ		○	○	
タコノアシ (*)	環境庁:NT, 新潟県:VU	○	○	
ヒカゲスミレ	新潟県:VU	○	○	
カラタチバナ	新潟県:VU	○	○	
ハイハマボッサ	環境庁:NT, 新潟県:VU	○	○	
オオアブノメ (*)	環境庁:VU, 新潟県:VU	●	○	
オオナンバンギセル		●	○	
サジオモダカ (*)		●	○	
クロモ (*)	新潟県:VU	●	○	
ヒメオヒルムシロ (*)		○	○	
ミズアオイ (*)	環境庁:NT, 新潟県:VU	●	○	
シラスゲ	新潟県:LP	○	○	
エビネ	環境庁:NT, 新潟県:VU	●	○	
キンラン	環境庁:VU, 新潟県:VU	●	○	
ホクリクムヨウラン	新潟県:VU	○	○	
ヒトツボクロ	新潟県:VU	●	○	

		2010	2000-2009	備考
準絶滅危惧 (NT)				
ウラジロ	新潟県:NT	○	○	
ミズワラビ	新潟県:NT	○	○	
オオバノハチジョウシダ	新潟県:NT	○	○	
ツルデングダ	新潟県:NT	○	○	
コシノカンアオイ	環境庁:NT, 新潟県:NT	○	○	
マルバハギ	新潟県:NT	●	○	
ミズユキノシタ		●	○	
アワゴケ		○	○	
キクモ		●	○	
ウリクサ		○	○	
アゼナ		○	○	
カワヂシャ (*)	環境庁:NT, 新潟県:NT	●	○	
タカアザミ (*)	新潟県:NT	●	○	
サワギク	新潟県:NT	○	○	
オモト	新潟県:NT	○	○	
ヤガミスゲ	新潟県:NT	○	○	
ヒナガヤツリ		○		(2010年追加)
アオテンツキ		●	●	
ヒンジガヤツリ		○		(2010年追加)
ツルアブラガヤ (*)	新潟県:NT	●	○	
ギンラン		○	○	
地域個体群 (LP)				
コバノヒノキシダ	新潟県:LP	○	○	
スダジイ	新潟県:LP	○	○	
アカガシ	新潟県:LP	○	○	
ウラジロガシ	新潟県:LP	○	○	
クサアジサイ	新潟県:LP	○	○	
フユイチゴ	新潟県:LP	○	○	
ミヤマフユイチゴ	新潟県:LP	○	○	
カラコギカエデ		○	○	
モチノキ	新潟県:LP	○	○	
上記以外追加 (2010新潟市RDB記載なし)				
ヒゴスミレ	新潟県:VU	○	○	
キキョウ	環境庁:VU, 新潟県:VU	●	●	
ヤナギスプタ	新潟県:VU	●	●	
ヒメシャガ	新潟県:NT	○		(2010年追加)
ソヨゴ	新潟県:LP	○	○	
ヨコグラノキ	新潟県:LP	○	○	
ヒメヨツバムグラ	新潟県:LP	○	○	

備考

種名の (*) は 丘陵近くに生育確認種を示す

2010爛 白○ 2010年確認
 黒● 2010年未確認

2000-2009爛 白○ 2000-2009年の間に確認
 黒● 2000-2009年の間に未確認 新津丘陵絶滅

2. 新津丘陵における新潟市絶滅危惧種の分布追加および動向

追加した種および記載に使用した略号は、以下のようである。

[略号] IS:石沢の写真、IS後の数字は写真番号で新津資料室に保管、Photo:写真資料でPhoto後の数字は写真ネガ番号あるいはデジカメ撮影番号、[8桁の数字]:地形図座標(環境省3次メッシュマップ)

[絶滅危惧Ⅰ類(EN)]

ヤマトミクリ *Sparganium fallax* Graebn

ミクリ科

新津丘陵の金津石油の里で2000年に分布を確認し、埋立地の近くにわずかに群生していたが、2009年にスギ林の整備工事により、再び埋め立てが行われたようで、2010年には、かつての生育地が消失し、その結果本種は丘陵から絶滅したとみられる。地権者には、農作業の折に本種を大切に保護するようにお願いしていたが、保護できずに消失してしまったことは残念である。

[絶滅危惧Ⅱ類(VU)]

ヒメカナワラビ *Polystichum tsus-simense* (Hook.) J. Sm.

オシダ科

本種は、2006年に金津で確認し、2009年まで健在であったが、2010年にはおそらく盗掘により、消失したとみられる。株数が1株であったこともあり、採取されてしまったと思われる。

ノダイオウ *Rumex longifolius* DC.

タデ科

本種は、秋葉区の阿賀野川や信濃川流域で確認しているが、新津丘陵での分布は明らかでなかった。今年の調査では小須戸の大沢や新津川などに生育することを確認した(写真1・2)。

秋葉区(小須戸)大沢 50m: IS-Photo PA100629-23~27[新津 5639-40-89 2010 6/29]



写真1 ノダイオウ

秋葉区(小須戸)大沢 50m (2010 6/29)



写真2 ノダイオウ(果実)

秋葉区(小須戸)大沢 50m (2010 6/29)

ヒカゲスミレ *Viola yezoensis* Maxim.

スミレ科

「年報 2009」で小須戸の大沢の分布を記録したが、開花期すぎていたので、花が確認できなかった。2010年の調査で開花していることを確認した(写真3・4)。

小須戸大沢<灰ヶ沢林道>70m: IS-Photo-PA100510-75~82[新津5639-40-78]



写真3 ヒカゲスミレ

秋葉区(小須戸)大沢 70m
(2010 5/10)

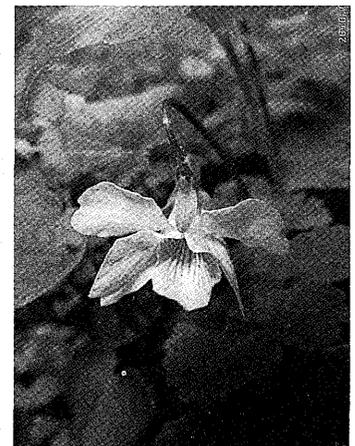


写真4 ヒカゲスミレ(花)

秋葉区(小須戸)大沢 70m
(2010 5/10)

[準絶滅危惧 (NT)]

ミズワラビ *Ceratopteris thalictroides* (L.) Brongn.

ホウライシダ科

本種は、年により発生する場所や個体数に変動があり、定期的な観察がし難いことがある。2010年には秋葉区の新津丘陵とその周辺では以下のようにかなり多くの生育地が確認できた(写真5・6)(分布図参照)。

柄目木 8m: IS-Photo PA101020-4[新津 5639-51-41 2010 10/20]

程島 4m: IS-Photo PA101005-6~9[新津 5639-50-39 2010 10/5]

草水町3丁目 15m: IS-Photo PA100925-20~22 [新津 5639-51-32 2010 9/25]

古津 4m: IS-Photo PA101005-14・16~20・28 ;

古津(梅ノ木 第一分水工) 4m: IS-Photo PA101005-29・30[新津 5639-50-18 2010 10/5]

古津(JR線路西側) 4m: IS-Photo PA101017-4・5・7 [新津 5639-50-09 2010 10/17]

朝日 23m: IS-Photo PA101002-30・31 [新津 5639-51-10 2010 10/2]

蒲ヶ沢(割町側) 八幡山 30m: IS-Photo PA100921-7~9 [新津 5639-50-09 2010 9/21]

金津 20m: IS-Photo PA100921-22・23 [新津 5639-50-09 2010 9/21]

金津 割町(中学校南) 22m: IS-Photo PA101001-20~24[新津 5639-50-09]

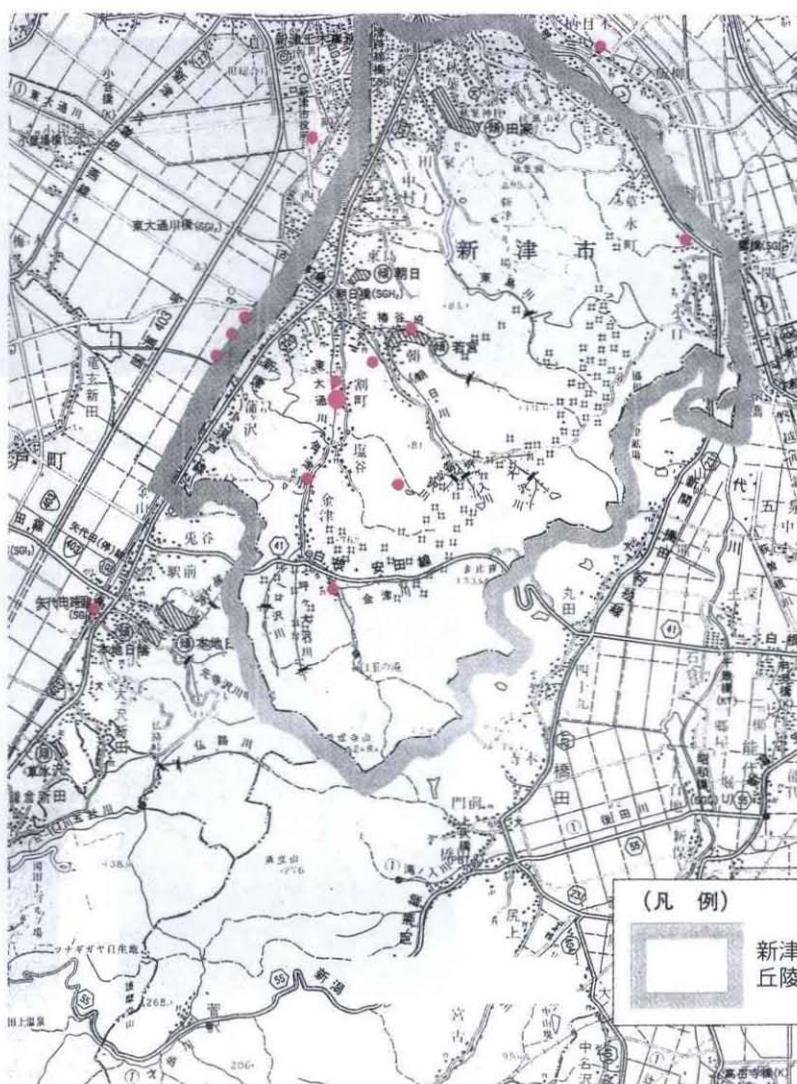
金津塩谷 24m: IS-Photo PA101001-15[新津 5639-41-90 2010 10/1]

金津(モシ園北) 22m: IS-Photo PA101117-25~27[新津 5639-40-99 2010 11/17]

金津(40-99と50-09の間) 23m: IS-Photo PA101001-5・10~12・14[新津 5639-50-09 2010 10/1]

金津<白玉ノ滝道>24m: IS-Photo PA101001-5・7~9[新津 5639-40-99 2010 10/1]

小須戸鎌倉新田 5m: IS-Photo PA101021-39~44[新津 5639-40-76 2010 10/21]



● 2003年丘陵最初の分布地点、● 2010年の分布地点

図 新津丘陵とその周辺におけるミズワラビの分布(2010)

なお、県内全域におけるミズワラビの追加調査結果は11頁に掲載する。



写真5 ミズワラビ(群生)
秋葉区古津 4m (2010 10/5)



写真6 ミズワラビ(群生:大株)
秋葉区金津 23m (2010 10/1)

ウリクサ *Lindernia crustacea* (L.)F. Mue11.

ゴマノハグサ科

秋葉区の人家近くの空地、畑、水田畔など広く分布している(写真7・8)が、分布地点が少なくなっている
と見られるので、準絶滅種としている。

秋葉区田家 20m: Photo OL080901-11[新津 5639-51-30]; 古津 10m: Photo PA101005-31[新津 5639-50-18];
朝日<小口道>20m: Photo OL080908-5・6[新津 5639-51-01]; 朝日(東の谷道) 10m: Photo OL080911-35・36[新
津 5639-51-10]; 小口 10m: Photo OL080916-62[新津 5639-51-22]



写真7 ウリクサ
秋葉区田家 20m (2008 9/1)



写真8 ウリクサ
秋葉区朝日<小口道> 20m (2008 9/8)

アゼナ *Lindernia procumbens* (Krock.)Borbás

ゴマノハグサ科

近年外来種のアメリアアゼナが優勢で、水田に広く広がっており、在来のアゼナが減少している傾向にあるので、
準絶滅種としている。秋葉区の水田では、まだ生育しているところを確認できる(写真9・10)。

秋葉区金津 白玉の滝(下) 30m: Photo OL070924-10・11・51~54・76・77[新津 5639-40-89]; 小口 15m: Photo
OL070106-28・29[新津 5639-51-22]; 程島 10m: Photo PA101005-2[新津 5639-50-39]



写真9 アゼナ
秋葉区金津白玉ノ滝(下) 30m

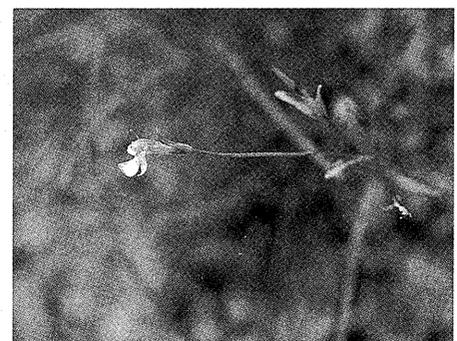


写真10 アゼナ
秋葉区金津白玉ノ滝(下) 30m (2007 9/24)

ヒナガヤツリ *Cyperus flaccidus* R. Br.

カヤツリグサ科

水田雑草でごく普通にみられる種であるが、これまで新津丘陵では、確認されていなかった。2010年の調査で生育を確かめることができた(写真11・12)。

秋葉区東新津 8m: IS-Photo PA101020-16・17[新津5639-51-41]



写真11 ヒナガヤツリ

秋葉区金津東新津 8m (2010 10/20)

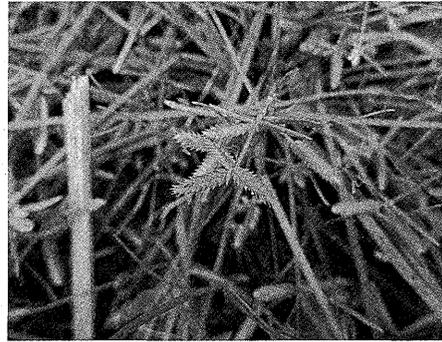


写真12 ヒナガヤツリ

秋葉区金津東新津 8m (2010 10/20)

ヒンジガヤツリ *Lipocarpha faberi* C. G. Clarke

カヤツリグサ科

本種も水田雑草でごく普通にみられる種であるが、これまで新津丘陵では、確認されていなかった。2010年の調査で生育を確かめることができた(写真13・14)。

秋葉区朝日 23m: IS-Photo PA101002-21~24[新津5639-51-10]



写真13 ヒンジガヤツリ

秋葉区金津朝日 23m (2010 10/2)



写真14 ヒンジガヤツリ

秋葉区金津朝日 23m (2010 10/2)

[地域個体群]

クサアジサイ *Cardiandra alternifolia* Siebold et Zucc.

ユキノシタ科

本種は、旧新津市の朝日や金津などに記録があり、小須戸地区にも生育して群生するところもみられる(写真15)。

秋葉区(小須戸) 大沢<灰ヶ沢林道> 70m: IS-Photo PA100721-89~91[新津 5639-40-78 2010 7/21]



写真15 クサアジサイ

秋葉区(小須戸) 大沢 70m (2009 7/21)

[左記以外追加]

新潟市のレッドデータブックには、分布確認できなかつたり、整理段階でリストに加えてないで、絶滅危惧種に追加すべき種として次のような種がある。

ヒメシャガ *Iris gracilipes* A. Gray

アヤメ科

「年報 2009」で小須戸の高立山の分布を記録したが、晩秋の調査であったために枯れかかった茎葉や根茎で同定し、分布の密度については、確認できなかつた。2010年の再度の調査で、高立山の180m以上に密生していることが明らかになった(写真16・17)。本種は、県のレッドデータブックで「準危惧(NN)」である。

小須戸高立山 180~230m : IS-Photo PA100531-20~25・27~32・47~53 [新津5639-40-68]



写真16 ヒメシャガ

秋葉区 (小須戸) 大沢高立山 220m (2010 5/31)



写真17 ヒメシャガ

秋葉区 (小須戸) 大沢高立山 180m (2010 5/31)

ヒゴスミレ *Viola chaerophylloides* (Regel) W. Becker var. *sieboldiana* (Maxim.) Makino スミレ科

本種は、菩提寺山に分布していることを以前確認しており、新津丘陵の調査を始めて2000年から2009年まで現地を訪れる度に注目していた。しかし、再発見できなままでいたが、2010年に分布していることが再確認できた(写真18・19)。最近の県内における本種の分布記録は少ないようで、1994年に角田山の報告がある(刈屋)に過ぎない。本種は、県のレッドデータブックで「絶滅危Ⅱ類(VU)」である。

秋葉区(小須戸)大沢<菩提寺山道>: IS-Photo PA100510-58~61 [新津 5639-40-79]



写真18 ヒゴスミレ

秋葉区 (小須戸) 大沢菩提寺山 (2010 5/10)



写真19 ヒゴスミレ

秋葉区 (小須戸) 大沢菩提寺山 (2010 5/10)

3. 新津丘陵における新産種および追加記録

ヒナガヤツリ *Cyperus flaccidus* R. Br.

カヤツリグサ科

ヒンジガヤツリ *Lipocarpa faberi* C. G. Clarke

カヤツリグサ科

上記2種の写真は8頁に掲載。

ヒシ *Tropa japonica* Flerow ヒシ科

新津丘陵における本種の分布は、2008年に朝日に記録したが、そこでは2010年には確認できなかった。これまでに生育していなかった秋葉湖で生育がみられた(写真20・21)。

秋葉区秋葉(秋葉湖) 40m:IS-Photo PA100831-1・5・9~11[新津 5639-51-31]



写真20 ヒシ

秋葉区秋葉 秋葉湖 40m (2010 8/31)

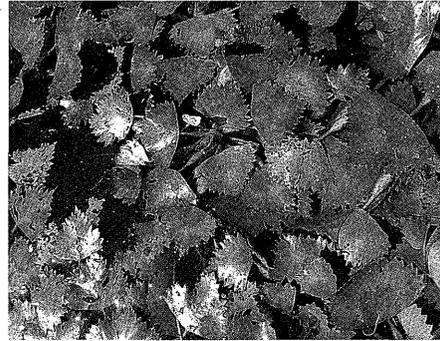


写真21 ヒシ

秋葉区秋葉 秋葉湖 40m (2010 8/31)

4. 小須戸地区:小須戸丘陵地の追加植物(石沢 進・朱 雁)

新潟市に合併した小須戸地区の内、新津丘陵に隣接する山地(小須戸丘陵地)に分布する植物を調査した。

2010年に小須戸地区で確認した種は、次のノダイオウであり、調査回数も少なく新たな発見は少なかった。

ノダイオウ *Rumex longifolius* DC.

タデ科

なお、本種は新津川流域の日宝町付近などにも分布していることが確認できた。

旧新津丘陵の植物と小須戸地区の植物相の相違については、さらに調査を重ねた上で検討したい。

文献

刈屋 寿(1994) 新潟県植物分布図集 第15集:127.

新潟市環境部環境対策課(2010) 大切にしたい野生生物~新潟市レッドデータブック~ 新潟市